

事業番号	197
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	家庭児童相談事業					担当部	こども未来部			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	こども政策課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	子育て支援係		
	総合計画 分野別計画	主目的	3 教育・子育て		13 子育て支援		1 子育て家庭を支援します				
		副目的									
	予算区分	款	3	項	3	目	1	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	児童福祉法									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	相談者の悩みを聞き適切な指導をすることによって、児童養育の向上を図り、子どもの健全な育成に寄与する。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 家庭児童相談室の開設 (開設日・時間) 月～金曜日・午前9時30分～午後4時30分 (場所) ふれあいセンター (相談員数) 2名 (相談内容) 子どもと家庭に関するさまざまな問題、子どものしつけ・養育・発達に関すること、学校生活、非行、家庭環境などの悩み事。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 普通旅費(149千円) 消耗品費(1千円) 有料道路・駐車場使用料(71千円) 家庭相談員連絡協議会負担金(7千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 普通旅費(173千円) 消耗品費(5千円) 有料道路・駐車場使用料(100千円) 家庭相談員連絡協議会負担金(8千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	439	287	228	286	
		正職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		その他職員	従事者数	人	2.00	2.00	2.00	2.00
			人件費	千円	4,658	4,070	4,098	4,098
	費用合計	千円	5,097	4,357	4,326	4,384		
	対前年比	%		85.4	99.2	101.3		
財源	一般財源	千円	4,837	4,280	4,326	4,384		
	国・県支出金	千円	260	77	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	週あたり開設日数	日	目標	5	5	5	5
			実績	5	5	5	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
相談件数	件	目標	700	700	500	500	
		実績	640	534	215		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	相談者の悩みを傾聴し、問題解決可能な支援機関への取り次ぎが適切に行えた。		
		事業実施における課題	障害を持つ子どもとその保護者への対応など相談内容が多岐にわたるため、相談員の知識が必要となる。		
		事業を縮小・廃止したときの影響	同様の窓口として少年センターの相談事業があるが、家庭児童相談室は児童虐待の相談窓口でもあることから廃止・休止をすると市民サービスの低下に繋がる。		
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	相談員の研修機会を確保した。		
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
		判定理由	相談支援事業を適切に行うことで、保護者の育児ストレスや家庭の問題からくるストレスの軽減を図ることができたため。		
		27年度以降の改善案	相談員の研修機会を確保し、問題の解決がより一層図れるようにする。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。